

さかお町議会

Vol.103 2025.8.1

6月定例会号

発行 高知県佐川町議会



今回の表紙

町立図書館さくとセタまつり
佐川高校音楽部ハンドベル演奏



まきにゃんも聴きにきちよったよ！

ボランティアさんによる
よみきかせもあったよ！



特集「議会配信をご視聴ください」..... P2

6月定例会：議案・補正予算 P3

特集「議会地区懇談会まとめ」..... P6

6月定例会：一般質問に8人 P8

地域でがんばる「瑞応の盆踊り保存会」さん .. P18

議会配信を是非ご視聴下さい!

家からみる! ライブ配信
後からみる! 録画配信

スマホでみる

1 インターネットで

Google、Yahoo!、Bing、Safari
などのブラウザで検索!

佐川町議会



2 議会映像配信へ



← 議会映像配信をクリック

3 見たい動画を選ぶ



当日

ライブ配信

後日

録画配信

※アーカイブは各日程の約7日後から
ご視聴頂けるようになります。

会議名・議員名
テーマ別にさがす

他の方法でみる

スマホ以外に、タブレット、
PC、インターネットTVなど
色々な方法でご視聴頂けます。

自宅での視聴が
難しい時は・・・
各地域の集落活動
センターなどでも
視聴可能です。

※ 佐川地区は夢まちランド
にて視聴可能です。



話題のあの件
どうなっただろう?
議会のやり取り
見てみようか!

4

再生

あとは見たい動画の
「再生ボタン」
を押すだけやね!

見たいときに!
見たい場所で!

※ご視聴の際は Wi-Fi 環境の
利用をおすすめします。
モバイル通信では通信料が
高くなる場合があります。



一般会計 6月補正予算 8,894万円の増額補正を可決

令和7年度6月補正予算

会計名	補正額	補正後の額
一般会計	8,893万6千円	87億4,788万3千円
特別会計	国民健康保険	663万7千円
	後期高齢者医療	33万4千円
	介護保険	△832万1千円
農業集落排水事業会計	72万1千円	5,256万6千円

6月定例会は、6月6日から12日まで開催されました。
報告2件、承認案4件、令和7年度の補正予算をはじめ、条例改正、契約締結など、議案11件を審議し、採決の結果、全件を可決しました。

専決処分 ※1

報告 久万田堰農業水路等長寿命化事業改修工事

441万1千円増額
計1億5千951万1千円

承認 学校給食共同調理場食缶洗浄機入替業務備品購入

1千892万円



承認 佐川町税条例の一部を改正する条例
※住民税にかかる所得控除の引き上げなど
地方自治法の規定により改正する。

承認 国民健康保険税条例の一部を改正する条例
※国保税にかかる課税限度額の引き上げなど

地方税法の一部改正に伴い、本町の条例を改正する。

※1 専決処分は、本来議会の決定が必要なことを、緊急時に首長が代わりに決定する仕組み。
報告は事後に伝えるのみで、承認は議会の同意が必要となる。金額などで規定がある。

条例の制定

職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴う改正。

職員の勤務時間・休暇に関する条例の一部を改正

育児・介護休業法の一部改正に伴う改正。

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正

※P.5 質疑を参照

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正。

※P.5 質疑を参照

内閣府令の一部改正に伴い、改正する。

佐川町子ども・子育て支援法の規定による過料に関する条例の一部を改正。

子ども・子育て支援法の一部改正に伴う改正。

◆佐川高等学校存続に向けての調査特別委員会の設置

存続が危ぶまれる佐川高等学校の存続に向け、佐川町議会内に調査特別委員会を設置した。

高等学校の存続・統廃合についての判断がされる県の計画に合わせ、調査期間は令和9年度末まで。

【構成メンバー】

委員長 岡林 哲司
副委員長 田村 幸生
委員 永田 耕朗
委員 岡村 統正
委員 松浦 隆起
委員 下川 芳樹
委員 宮崎知恵子
委員 齊藤 光





価格高騰重点

支援給付金

2千950万円

定額減税補足給付金（不足額給付）は、当初調整給付を推計値で算出したが、給付するべき額と当初調整額に差額が生じた場合の給付金。

農道及び用排水路

改良事業

2千459万6千円

岡崎堰破損による燃料費・機材借上料、応急工事、設計委託に係る経費。

町立学校情報機器 整備事業

4千660万2千円

小学校、中学校のタブレット（iPad）・キーボード等908台の購入に係る経費。



令和7年度 一般会計
補正予算の質疑

岡 西森議員 老人保健費の需用費に計上されている41万8千円の修繕費は、施設のどこを修繕するのか。

岡崎健康福祉課長 健康福祉センターかわせみの会議室の空調が故障している。

原因を調べた結果、会議室系統の電気線、漏電ブレーカー等の交換を必要とし、その費用として計上した。

議案第50号 佐川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する条例の一部改正の質疑



岡 橋元議員 議案第51号もそうだが、用語が難しい。佐川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業について、対象となる具体的事例をあげて、説明を求める。

岡崎健康福祉課長 議案

第50号、51号も関連するが、特定教育・保育施設は、町内では保育所、認可保育所が当たる。

特定地域型保育事業は、町子ども・子育ての支援新施設制度で創設された。原則として0歳から2歳までの乳幼児を対象とした小規模な保育事業形態の総称である。

条例改正の背景と理由は、保育内容の支援、代替保育、3歳児になったときの卒園後の受け皿の3要素について、連携施設をもつことが義務付けられていた。

しかし、令和6年度厚労省調査で全国3割の施設が要件を満たしていないことが明らかになり、さらなる規制緩和と経過措置5年間の延長を盛り込んだ内閣府令が4月1日付で施行されたので、同条例を改正する。

意見書

国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書

意見書への討論

反対の立場 宮崎議員

国民健康保険制度に係る国庫負担能力に応じた負担水準とする財政支援及び財政基盤の確立のため、以下について早急な実施を求める。

記

一、国民健康保険制度に係る国庫負担率を上げ、他の被用者保険と均等な被保険者の負担率とすること。
二、子育て世代に対する財政支援として実施されている未就学児均等割保険料の減額処置を18歳までの子どもに拡大し、減額割合を5割から全額（10割）に拡充すること。

消費税減税、インボイス制度廃止でくらしと営業を守る意見書

これだけ高負担になってしまった原因は、さまざまな福祉施策を重ねたところに原因があり、経済的に30年以上横ばいの状況を続けている。

これは、日本経済にとってトンネルがさらに長くなると同じで、向こう20年、30年暗い道のりへ導くことになることを認識した上で検討すべき。

賛成の立場 岡林議員

子どもに課せられる5割の負担分については、協会けんぽ・健保組合に加入の方の子どもは扶養制度の範囲内であり全額控除となっている。

国民健康保険加入者のみが、子どもの人数割りで5割の負担をしている状況になっている。

個人事業主が大体のこの国民健康保険の加入者であり、子育てを支援して行く意味でも、国が保障していくことは必要。

食料品、お米、ガソリン、電気など、物価高騰が続く、生活は窮地に追い込まれている。

消費税率の減税は、物価を押し下げ、その効果はまんべんなく行き渡る。

いったん税率を下ればその効果は続き、経済対策として有効な手段の一つだ。

令和5年10月に始まったインボイス制度は、令和9年度以降、2割特例の期限が切れるので大きい納税額となる。

価格転嫁もできず、請負単価も上がらない中で、この制度は小規模事業者を圧迫している。

政府に、消費税減税とインボイス制度の廃止をもとめ、くらしと営業を立て直す施策を強力に実施することを求める。

議員各位の意思表明

賛否表（令和7年6月定例会） ○：賛成 ●：反対 ー：議長 欠：欠席

	齋藤光	岡林哲司	山本和輝	田村幸生	橋元陽一	宮崎知恵子	西森勝仁	下川芳樹	坂本玲子	森正彦	松浦隆起	岡村純正	永田耕朗	藤原健祐
佐川町一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
職員の育児休業等に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
佐川町子ども・子育て支援法第82条の規定による過料に関する条例の一部を改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
物品購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー	○	○	○
国民健康保険に対する国庫負担の増額等を求める意見書	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	ー	○	○	○
消費税減税、インボイス制度廃止でくらしと営業を守る意見書	○	○	●	○	○	○	●	○	○	●	ー	●	●	●



議会配信

- ① アーカイブ配信を見た。家の中で見られるのがよい。
- ② 見たいけどパソコン・スマホがない。見方が分からない。
- ③ 映像が固定されているので、見る側は退屈する。何か工夫を。
- ④ 場所時間選ばず視聴できてよい。各議員の質問事項が事前にわかると便利。
- ⑤ 配信は必要か？議会広報も必要か？議事録だけでよいのでは？

道の駅

- ① 「まきのさんの道の駅」に関わるような物品が少ない。牧野富太郎の書籍・資料の展示、博士に関わる植物の販売など、もっとアピールしてほしい。
- ② 遊具公園楽しいが、日陰・木陰がないし、トイレもないのが不便。
- ③ 芝生広場が活用されていない。もっとイベント開催を。キャンプなどしたい。
- ④ 佐川の強み活かし、もっと地元の商品を。意見箱の設置を。住民の声聞いて。
- ⑤ 駐車場が利用しにくい、光熱費高そう、ハード面の問題が心配。

新図書館さくと

- ① 新図書館は、飲食も可能となり、気軽に利用している。
- ② 看板などがなく、図書館の場所がわかりづらい。
- ③ 地元企業提供の雑誌購入・閲覧はとてもいい。館長の説明わかりやすい。
- ④ ギャラリーが欲しいと言ってきたが、展示スペースがなかった。
- ⑤ 駐車場について、補助駐車場があることを掲示してほしい。

防災・減災

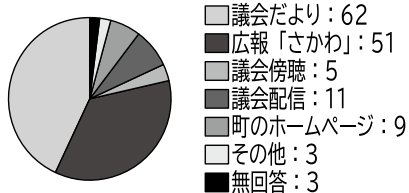
- ① 災害時に水が必要、自治会にひとつ井戸を。トイレの作り方を知りたい。
- ② 自主防災組織で住人の寝ている場所を把握している。
- ③ 自治会に3か所も谷がある、砂防ダムの設置検討を。
詳細なハザードマップが欲しい。
- ④ 道路の側線がないと、光がなくなれば道が見えない。車がこける。
道路管理者に伝えて。自治会から要望書を上げてもともらない。
- ⑤ 子どもたちが地域に聞き取りをして防災マップ作りに取り組んでいる。
子どもたちの方が地域の危険箇所を把握できている。

その他の課題

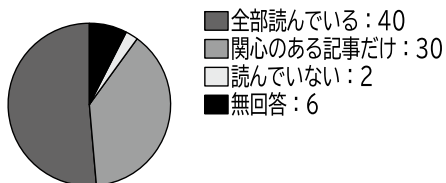
- ① 地域おこし協力隊の募集状況は、今年はまだゼロのままなのか。
- ② 春日川の水質汚染、役場前の葦の繁茂・汚濁を町として把握しているか。
- ③ 龍王公園（タコの公園）出入口がとても危険、ミラーが見づらい。
トンネル側に警告看板の設置を。
- ④ 議会懇談会の開催が夜なので、昼開催を検討してほしい

合計来場者 83 人 アンケート回答 78 人

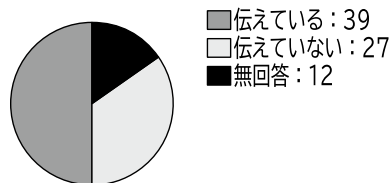
議会に関する情報を得る方法は？



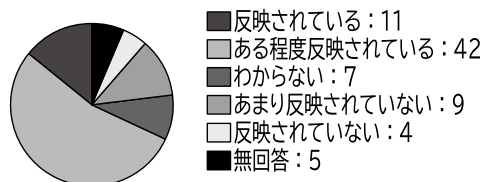
議会だよりを読んでいますか？



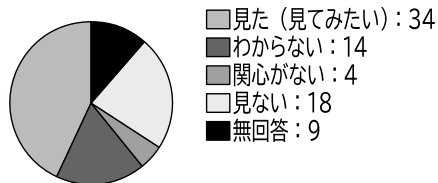
議員に意見や要望を伝えていますか？



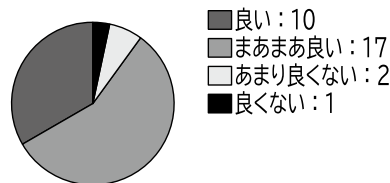
議会に町民の声が反映されていますか？



議会中継（ライブ配信）について



議会中継（ライブ配信）満足度は



令和7年度 佐川町議会懇談会

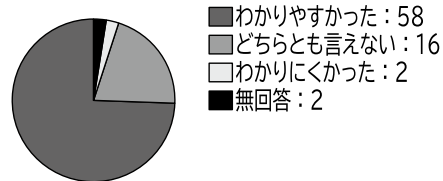
佐川町議会として、5月に住民懇談会を町内5地区で開催しました。平日開催にもかかわらず、多くの住民の方にご参加いただき、ありがとうございました。テーマ別の懇談会の中でいただいた内容のまとめと、アンケートの結果を報告します。

※掲載スペースの関係上、いただいた貴重なご意見のすべてを掲載することができておりません。あらかじめご了承ください。

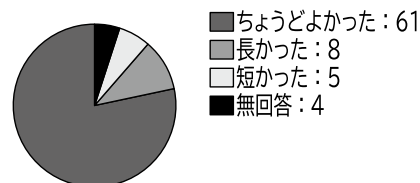


議会懇談会について

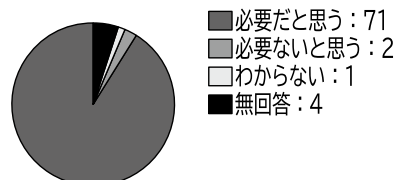
1. 内容について



2. 時間について

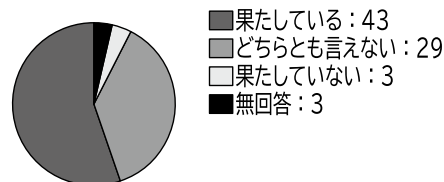


3. 今後も必要と思いますか。

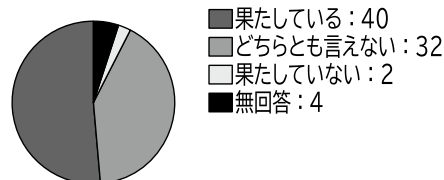


町議会の現状について

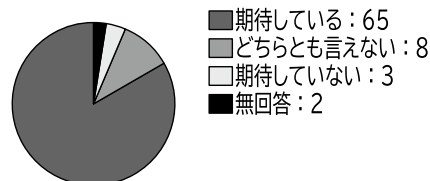
1. 議会の役割について



2. 議員の役割について



3. 議会への期待について



尾川地区【地域課題】

- ① 高齢化少子化が課題、世帯数が約4分の1になった。
- ② あちこちで草が伸びている、地域にお金が入る草刈り補助金があれば。
- ③ 長谷溪谷：荒れて遊歩道が行けんがどうしたらよいか。
- ④ 猪のわさをかけてほしいとの要望が多い、これからの対策を検討してほしい。

加茂地区【地域課題】

- ① 人口が増えない。若者が減少。集落活動センターの活動と担い手も不足。
- ② 免許返納し、ぐるぐるバスがあつて助かるが、ルートと時刻表の見直しを。
- ③ 堤防の草刈りが大変。ぼやも発生した。耕作放棄地も草が伸び見通しが悪い。
- ④ 駅前の駐輪場に屋根が欲しい。放置自転車をなんとかしてほしい。

黒岩地区【地域課題】

- ① 柳瀬川河川改修工事が進んでいない、早期に工事が実現するように求める。
- ② 防犯灯を全額自治会費で修理した。補助金のことなど自治会長引継ぎが大事。
- ③ 城山公園を町へ返還したが、その後の管理はどうなっているか。
- ④ 休校の黒岩中学校の今後の活用について、廃校を踏まえた手立てを。

斗賀野地区【地域課題】

- ① 農地の放棄地が増加。関係人口の取り組みでとかの元気村が活動中。
- ② 保育園90人、小学校130人、地区民運動会5年ぶりに開催。
- ③ 自治会に10世帯しかいない。世帯少ない自治会の合併を考えてはどうか。
- ④ 順番で自治会長をしているが、資料作成が大変。

別地区では総会で自治会長が決まらず、無理に決めると脱退することもある。

佐川地区【地域課題】

- ① 自治会未加入が問題、地域の課題や活動参加の意味をもっと周知して。
- ② 放棄されている個人所有の土地、家屋について町の対応を求める。
- ③ 町のホームページ、古い情報が多い。きちんと更新してほしい。
- ④ 宅地造成の際、一定の軒数でゴミステーションと防犯灯とを設置していく仕組みを、検討してほしい。



西森勝仁 議員



- ① ぐるぐるバスの運行状況の実態とその問題点について問う
- ② 職員の育成と職務遂行能力の開発・向上について問う
- ③ 観光客の受け入れと地元利益の現状について問う

問 どうするぐるぐるバスの今後

答 随時対応する

問 3月に、ぐるぐるバスの時刻表が、大幅に改正になった。

この改正で、最終便も2時間以上も繰り上がり3時半ごろには終わるなど利用者から不満噴出である。

なぜ、このような改正になったのか。また、そもそも何の目的で運行しているのか。

また、利用者は、乗る便がなくなり、大幅に減っていると聞けが実態はどうか。

さらに、バス停も新設されたが、溝に落ちるなど

危険なため、元に戻してもらいたいとの声も多いがどうするのか。

安岡まちづくり推進課長

運行の目的は、住民が買い物など、日常生活上不可欠な移動を確保するためである。

利用客は、昨年に比べ4月が63人、5月は78人の減となった。

今後の経路の変更等に関しては、利用者の意見を聞いたうえで公共交通会議で協議いただき検討する。

片岡町長

安全対策などで、許可の必要のないものについては随時対応し、利用者の安全確保に努めていく。



利便性向上は大切

問 どうしている職員の育成

答 積極的に取り組む

問 最近、役場の窓口での苦情を耳にする。これは、住民の疑問などに対応できていないためと思うが、住民が理解し納得できるように説明するには、その根拠法令や実例などをしっかりと勉強しておく必要があると思うがどうか。

また、新採から5年位経って、これから言う時に辞めて行く職員もいるが、人事管理もしっかりフォローして、町民に寄り添えるような職員に育ててもらいたい。

なんとと言っても職員は佐川町の宝もの。職員次第で佐川の未来はバラ色にも灰色にもなると思いますが、その育成はどうしているのか。

横畠総務課長

佐川町人材育成基本方針を策定して取り組んでいる。

具体的には、職場研修を実施、知識や技術、態度

度などを指導し、また、外部の研修機関にも参加させる職場外研修を実施し、知識や技術の向上を図っている。

片岡町長

国・県との人事交流により、政策立案や調整能力の向上を図っている。さらに意欲のある職員には自治大学校などにも積極的に参加を促す。



町民に寄り添う職員



坂本玲子 議員



- ① 学校の現状と教員の働き方改革について
 - ・部活動の地域移行は教職員の忙し過ぎる原因は
 - ・残業時間、研修、提出文書の実態
- ② 高北病院について
 - ・経営状況はどのようになっていくか
 - ・赤字の原因は何か
 - ・診療報酬改定までの町のなすべきことは
 - ・病院給食について

問 高北病院赤字！公的支援を

答 慎重に対応していく



拠点病院として重要

問 調査では全国で赤字病院の割合は約8割となっている。

高北病院は地域包括ケアシステムの拠点病院や災害救護病院になっている。

町民は高北病院の存在を大切に思っている。R6年度、高北病院の経営状態はどうか。赤字の原因は何か。人勧による人件費増が約5千万円と聞いている。

また物価高騰に対して県は私立の病院には補助金を出しているが公立病院にはない。速やかに診療報酬改定が必要だ。改

定まで町が人件費補助や物価高騰対策支援金を出すべきではないか。

宮本病院事務局長

R6年度、赤字が1億円程度になる。主な原因は、診療報酬改定、患者数の減少、人件費増や物価高騰である。

片岡町長

物価高騰対策支援金と同等の支援が必要であるとは考えている。病院の運営協議会や関係者とも協議しながら慎重に対応していく。

問 学校の働き方改革、推進を

答 勤務状況改善は必要

いる。国や県からの調査やアンケートを減らすこと、研修を少なくし長期休暇中に行うことが教員の負担軽減になる。県に強く要望すべきだ。

また学校の授業時数を標準授業時数にすることは町独自でできる。推進すべきだ。

濱田教育長

教員の過酷な勤務状況を改善していくことは必

要だ。休憩がとれていない場合は労基法違反になる。県から課される研修は多く夏休みだけでは対応できない。

調査や報告は月平均20件程度もある。県には減らすよう強く要望していく。町内で標準授業時数を大きく超えている学年が半数ほどある。校長に指導・助言をしていく。



部活動は地域へ

橋元陽一 議員



- ① 第6次佐川町総合計画について
 - ・社会増減の特徴と人口減少に伴う保・小中・高の保育・教育条件整備を求める
- ② 新産廃施設の進捗状況について
 - ・施設と地盤の地震対策の見直しを求める
- ③ 国土強靱化地域計画について
 - ・自然災害対策とミサイル攻撃対策との区分けを求める

問 新産廃施設、地震対策の見直しを求める

答 県は見直す予定はないと承知している

新産廃施設が最大クラスの地震に耐えるとの説明だけでは納得できない。被害想定の見直しが公表されたことで、耐震対策の見直しは検討されているか。

廣田住民課長

今回の政府の被害想定見直しは、高精度の地形データの活用による、津波の浸水範囲等の見直しで、施設の耐震性について再検討する必要はないと考える。

なお県独自の被害想定の見直しの動きを注視する。

問 同じ震度でも、地震で観測される最大加速度（ガル）の違いを組み合わせて、地盤も構造体として捉え建物被害と併せた災害分析が行われている。

震度6～7を記録した地震と最大加速度(ガル)			
発生年	地震名	震度	最大加速度
1995年	阪神淡路	6	891
2004年	中越地震	7	2516
2011年	東日本大震災	7	2933
2016年	熊本地震(予)	7	1580
2016年	熊本地震(本)	6強	1362
2018年	北海道東部地震	6強	1796
2024年	能登半島	7	2828

重力による加速度＝980ガル（cm/s²）

気象庁のデータで作成された資料

問 人口動態の分析による特徴は何か

答 30代の女性の転入が多い

問 まちづくり総合計画策定に向けて、社会増減、男女別、職業別、転出入の理由などの分析で、国勢調査から明らかになっていることは。

子どもの成長を支援する条件整備について、町内の保育園、小中学校の存続の在り方について検討していることは。組合立加茂小中学校の在り方を検討しているか。

安岡まちづくり推進課長

R2年度国政調査のデータでは、5年前からの転入者は1千137人、転出者が940人。転入で最も多い世代は30～34歳で125人。続いて35～39歳で120人、25～29歳で97人だ。転出入の多い世代では女性の方が多い。

岡崎健康福祉課長

第3期子ども・子育て支援事業計画では、通所区域については現行の保護者が利用しやすい町内1区域を継続する。

濱田教育長

町立の小学校児童数はR7年度464名、中学校は226名。R13年度にはそれぞれ309名、173名と減少する見込み。学校規模の適正化はめざすが、地元からの要請がない限り、町立小中学校の再編は実施しない。

片岡町長

組合長を務めているが、今後検討することになれば、日高村と佐川町の組合議会、PTAなど、関連する組織でしっかり協議する。





下川芳樹 議員



- ① 佐川町教育研究所の業務内容について
- ② 山の売買を効率的にすすめる取り組みについて
- ③ 佐川町地域ネットワーク支援ネットワークとの連携について
- ・第3期子ども・子育て支援事業計画の中での行政機関との連携は
- ・来年度設置予定の子ども家庭センターとの連携は

問 教育研究所の情報を町民と双方向で

答 双方向性で日常的に意見を

問 平成30年より創設された佐川町教育研究所の成果が、業務に関わる一部の関係者には共有されているが、多くの町民には届いていない。

研究所の創設目的が、

「佐川町の子どもに関わる全ての人たちと一緒に考える」であるならば、すべての人たちに情報が伝わり考えられる、双方向でやり取りができるようにするべきだ。



常任委員会での視察のひとコマ

濱田教育長

教育研究所は設置以来、不登校、学力向上、ふるさと教育の3つを中心とした学校教育の課題を解決するための業務を行い成果を上げてきた。

地域の理解や協力は非常に重要であり、広報を充実させていく必要があると考える。双方向性の中から、究極の目的としての文教の町に育つ期待もある。日常的に意見をもらう取り組みや、窓口について検討したい。

問 相続放棄の山林、林業事業体とつないで

答 山林所有者にとってよい取り組みを

問 不動産登記法が改正され、相続の発生から3年以内の相続登記が義務化された。若い世代からは、価値の分からない山林の相続を放棄する相談が増えている。

本山町や仁淀川町では、売却を望む山林所有者と林業事業体をつないでいる。佐川町でも取り組んではどうか。



またれる山林の活用

下八川産業振興課長

佐川町でも相続をしたけど売りたい、寄付をしたいという声や相談がある。そういった場合には、山の状況や広さ、位置などを確認したうえで、寄付も受け付けている。ただ全ての寄付を受け

られる状況ではなく、所有者の許可を得て町内の林業事業者とのマッチングをしている。

今後においても、本山町、仁淀川町と情報共有しながら、山林所有者にとって良い取り組みをしていきたい。

山本和輝 議員



- ① 町道管理について
- ② 農業の取組みについて
- ③ 耐震化の取組みについて
- ④ 有害鳥獣のとりくみについて

問 町道管理について

答 建設課に相談して欲しい

問 生産年齢人口の減少は、自治会の存続、維持にもつながる課題だ。自治会等の道づくりなど、各自治会の作業人数が大幅に減少し管理が難しいと思う。

町道の山手側の法面など、草刈り機を使う若手が少なくなり、参加者一人一人の機械を使用する作業負担が多く草刈りできないことで軽自動車や自動車、バス等に法面等の木が道路上に迫って接触しそうな危険な状態になっている場所が多い。

現在の町民参加型の道づくりでは、道路上の木を伐採管理するのは限界があるが、道路の法律的管理上、高さは何メートルか、また自治会では管理できない場合、執行部として今後どのように対策対応するのか伺う。

吉野建設課長

法律により、道路の安全な通行を確保するため、車道の場合は上空4.5メートル通行の支障になるようなものは置いてならない。

町道では、自動車の通行の妨げになる場合、道路の安全確保のため、高さにかかわらず町で対応していく。

そのような場合が発生している場合は建設課に相談して欲しい。

問 現在の耐震化補助金額が材料費高騰で妥当か

答 今年度中に補助金を出せる体制を組む



町道にかかる樹木

問 耐震化補助金の資材費、人件費高騰により耐震改良に必要な金具やベニヤ板、ねじ等含め、人件費も高騰しており耐震

設計では、日高村は35万、佐川町は25万5千円と9万5千円も低く、耐震改良補助金事業で日高村は165万に補助金を増額しており町は耐震工事130万と近隣町村でも一番低い補助金額となっている。

町のブロック塀の補助金額は20万5千円、越知町は40万7千円と、かなり各補助金の差が開いている。近隣町村の補助金額に増額するのか。

また、以前、耐震化補助金を上げるまでリフォーム補助金があったが、その後なぜ無くなったのか。

耐震化補助金、住宅耐震化推進事業、器具代取付費の補助金増額について伺う。

吉野建設課長

工事業者、住民の意見も伺い、住民負担の軽減と耐震工事の推進を図る。

また耐震化とリフォーム改修を耐震改修の工事費にリフォームの補助金

を上乗せが適切であろうという判断で、耐震化改修工事に一本化した。

横畠総務課長

支援している周辺の市町村の取り組みなどを研究していく。

片岡町長

耐震設計、耐震工事、器具の取り付け、器具の代金など近隣の町村に合わせる補助を出せるよう今年度中に協議し、来年度から対応できるように進めていく。

住宅耐震化推進事業

	耐震化設計補助金 (円)	耐震改修補助金 (円)	ブロック塀補助金 (円)
日高村	350,000	1,650,000	400,000
越知町	305,000	1,438,000	407,000
橋原町	270,000	1,650,000	400,000
佐川町	255,000	1,300,000	205,000



齋藤光 議員



- ① 移住定住政策について
- ② 防災について
- ③ 図書館さくとうについて
- ④ 学校教育について

問 年間110万円の予算を使った人口減少PR事業における映像配信の中で、4月に佐川町公式YouTubeチャンネルにて配信となった「SAKAWA QUEST」の動画配信の目的や狙いはどうか？
また動画配信における数値目標はあるのか？

問 人口減少PR動画の数値目標は？

答 数値目標は設けていない



安岡まちづくり推進課長
「SAKAWA QUEST」は令和6年度に高知県の人口減少対策総合交付金事業の移住定住促進強化事業の中で、若者の移住定住に向けたプロモーションツールのひとつとして制作し、暮らしやすさなど、移住生活をしていく上での情報や、町の魅力を発信していくために作成し、配信している。
動画配信の数値目標は設けていない。

問 黒岩地区の河川改修は地域住民からの要望が多く寄せられている場所であり、安心安全な暮らしのために早急な対応が求められていると認識している。現在の進捗状況について佐川町はどう把握しているか？
また現状どのような課題があるか？

問 柳瀬川改修工事の現状は？

答 土砂の発生と処分が課題



洪水対策は長年の課題

吉野建設課長
柳瀬川改修事業の全体の計画は、仁淀川の合流地点から上流へ約6.1キロ。八重栗堰までの全7工区となっている。
事業を休止している期間もあったが、佐川町と越知町の要望により、平成26年度に事業を再開している。
現在越知町側の最下流1工区、延長900メートルの事業が進められている。
その進捗状況は、令和5年度末までに、右岸の用地買収が完了し、令和6年度は、左岸の用地買収他、補正予算を活用して右岸の護岸工事にも着手している。
現時点での課題としては、河川の拡張工事に伴って、大量の土砂が発生しており、その処分が課題になっている。
通常の場合、公共工事で発生した土砂は、他の工事で流用することが多いが、柳瀬川の場合、受け入れ先となる工事がなく、現在有料の処分場を活用している状態になっている。
そのため多額の残土処理費用が追加となり、予算と比較して、施工延長が伸びていない。

宮崎知恵子 議員



- ① 米価格の高騰について
- ② 佐川町立山崎記念天文台施設について
- ③ 役場職員の働き方について
- ・町職員の兼業の在り方
- ・町職員の業績評価は
- ・役場を退職した職員数や退職の原因は

問 米価格の高騰の原因は

答 品薄状態になったこと



収穫の喜びを味わう

問 米価格の高騰が続き、5月25日時点で週平均5キロあたり4千260円を記録するなど、昨年の2倍以上の価格で家計を圧迫している。政府は備蓄米放出を始めているが、根本解決にはならない。

下八川産業振興課長
米価格高騰の原因は品薄状態となったことにあると考える。なるべく営農を継続頂けるように支援策の他、耕作条件の改善事業を積極的に実施する。

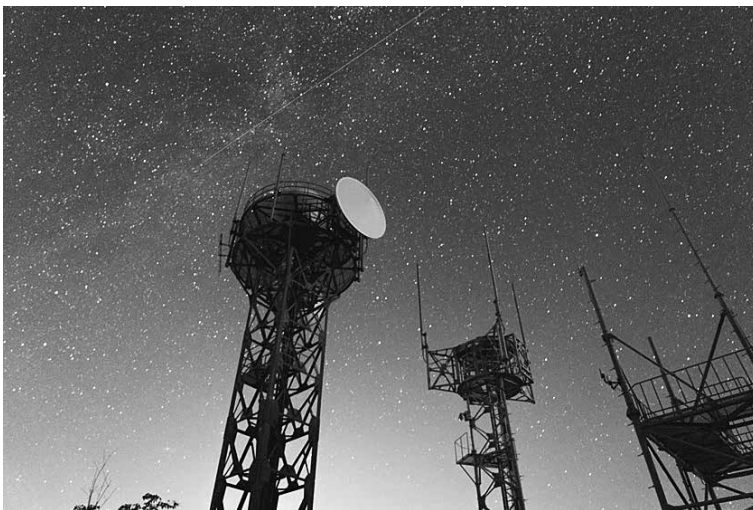
問 佐川町出身で、明治期から昭和にかけて、「クロムメリン彗星」を観測するなど天文観測の分野で傑出した業績を残した山崎正光さんについて、虚空蔵山には山崎さんゆかりの反射望遠鏡を置いた施設「山崎記念天文台」がある。

問 山崎記念天文台施設をもっとPRしよう

答 普及に努めPRをしっかり行う

しかし、立派な天文台が佐川町にあるということとを十分にPRできていないのではないかと。町内小中高校で、山崎さんの業績を学びつつ、天文台に触れる機会はあるのか。佐川町を「天体の街」としてPRする等の工夫ができるが、何か考えはあるか。

岡田教育次長
山崎記念天文台は「佐川星を観る会」が指定管理者だ。町としては、一緒に天文台をPRし、また町内の児童、生徒の皆さんに学ぶ機会を創っていききたい。普及に努めPRをしっかりと行なっていく。



虚空蔵山頂からの星空



岡林哲司 議員



- ① 佐川高校魅力化に必要な事とは、取り組みの本気度について
- ② 引きこもりの問題と支援施策について
- ③ 道の駅の令和6年度の経営状況と今後の戦略について
- ④ ふるさと納税の現状と今後の課題について
- ⑤ 高北病院の産婦人科の利用状況を問う
- ⑥ 消防団について

問 地域コンソーシアムの現状は

答 合意形成には至っていない

問 令和6年度中に立ち上げ予定だった地域コンソーシアムが令和7年度に入っても未だ準備会の段階と聞く、現状は。

町として新たな支援施策はあるか、また現行の支援をどう評価しているか。

高校は町の活力だ、嶺北高校のような包括的支援の成功例もある、令和9年度の再編判断に間に合うよう町単独でも短期的な目標と行動が必要ではないか。

濱田教育長

令和6年12月から3回にわたり準備会を開催。県教委と協議しているが、学校運営協議会との役割の違いなど課題も多く、合意形成には至っていない。

岡田教育次長

今年度の新たな支援策はないが、既存の支援や中高生会議の継続、「さくら咲くプロジェクト」への協力を継続する。

片岡町長

現行支援に十分な成果は感じていない。財政的制約もあり、現時点での町独自の金銭的な支援は厳しい。関係町村と連携して進めていかなければならないと考えている。

県に対して令和9年度末は厳しいので、すぐに廃校にならないように意見していく。



存続まったなし

問 道の駅利用者の声聞いているか

答 特段情報収集はしていない

問 議会懇談会や、議員個人に対して様々な声がある。町民や利用者の声をどのように集めて活かしているか。

今後の交流人口増加のため、低コストでのイベント開催が容易になる南側芝生広場への盛り土ステージと電源ボックスの整備の検討を。

障害者への配慮に関する法も出来た。インク



ループ遊具近くにトイレ設置が必要だ。利用者はわざわざ苦情を届けなくても多い、声が上がらないから不要と判断せず、実態調査と住民の意見収集を行つべき。

下八川産業振興課長

現状、特段の情報収集は行っていない。ステージや電源の整備で可能性は広がるが、効果や活用方法など不確定な部分が多い。仮設舞台の貸出ができる。その活用や協議を経て検討すべき。

トイレについても直接

田村副町長

芝生広場ではタープを利用し家族連れや保育園児が遊んだり昼食を食べている、佐川らしい道の駅だと思う。

トイレについて特に設置距離の基準が見つかからない、現施設で対応できると考えている。

聞いたり、現地で見たりとはない。

現状、ご不便をかけると思うが、距離はあるが既存の施設を利用いたしたい。

高吾北組合議会

6月3日、第2回定例会が開催されました。

提出された議案は、専決処分報告1件、令和7年度高吾北広域町村事務組合一般会計補正予算案1件などを含む4件でした。



高吾北消防署の指令室

高知県 消防広域化 今後どうなる？

組合長の諸般報告の概要では、今年度より市町村長・消防長・外部有識者による「高知県消防広域化ありかた検討会」が開催され、それぞれの分野で専門的に議論の場が

工事請負契約締結は、

消防緊急通信指令施設指令系設備改修工事、売買契約の締結は可燃ごみ袋の作成、また監査委員任期満了に伴う選任案件で、当町の「田村泰富」氏が再任されました。いずれの議案も満場一致で可決されました。

日高村佐川町 学校組合議会

教育長、教育委員を
満場一致で選任

6月20日、日高村佐川町学校組合議会が開催されました。

議案は同意案2件、議案4件で教育長の選任同意案であり、日高村の「藤田浩」氏が、満場一致で新たに選任されました。日高村佐川町学校組合教育委員の選任同意については、引き続き佐川町加茂の「岡添正弘」氏が満場一致で選任されました。

物品購入契約1件、職員の勤務時間等に関するものなど条例案2件、一般会計補正予算案1件でいずれの議案も満場一致で可決されました。

全国町村議会 議長・副議長 研修会

防災・災害対応などの
実践的な内容を学ぶ

5月27日、東京国際フォーラムにおいて正副議長研修会が開催されました。

研修は内閣府政策統括官での高橋健司氏「広域災害対応を含めた自治体の災害対応力強化に不可欠な防災DX」、明治大学名誉教授の青山侑氏「平成からの災害に学ぶ復旧・復興まちづくりの課題」、同志社大学名誉教授の新川達郎氏「災害と議会・議員の役割」であり、地方議会が直面する課題について実践的な研修内容でした。

総務文教 常任委員会 活動報告

委員会として防災に
関する提言書を提出



1月23日、本委員会は所管事務に係る「町内の防災対策」について、危機管理対策室に防災対策の現状などの調査を行いました。

その後「防災に関する提言書」として調査報告をまとめ、会議規則第77条の規定により、3月31日に佐川町長へ提出しました。提言書の内容として

は、町の防災力強化に向けて、聞こえにくい防災無線への対応やLINE活用による情報伝達、町民参加型の防災訓練、自主防災組織への支援、避難所のプライバシー確保、災害物資の備蓄体制整備、若者の参画促進など、6項目の提言を行いました。

【常任委員会活動とは】

議員全員で全ての議題を細かく議論していくのは難しいため、2つの常任委員会がそれぞれの所管事務ごとに効率よく深く調べて話し合うことで、議会全体の判断を支える役割を果たしています。

常任委員会は、付託議案の審査の他に、所管事務に係る「調査権限」を持ち、町の事業や行政運営についての情報収集や、関係者に説明要求ができます。

今回、審査や調査の結果をふまえ、提案や意見をまとめて、提言書として提出しました。

あれはどうなったが？

あの質問のゆくえ



自己負担の軽減措置で 木造住宅耐震化の促進を！

熊本地震で木造住宅の倒壊で甚大な被害がでた。
本町の耐震化の進捗状況はどうか。

2016.6 月定例会（森議員）

対象住宅の 90%を目標に耐震化をすすめていく。

耐震診断から工事への状況と、個人負担軽減の
予算確保の状況はどうか。

2021.12 月定例会他（坂本、橋元議員）

戸別訪問も行い、診断から改修工事への割合は
47.6%だ。個人負担軽減を行うため、国の交付
金を活用して予算増額の準備をすすめる。

どうなった

南海トラフ地震に備え、2022(R4) 年 3 月一
般会計で、耐震診断委託料と耐震改修補助金と
して総額 1 億 500 万 5 千円を計上する。

個人負担

耐震診断：無料

耐震設計補助：上限 25.5 万円

改修工事補助額

92.5 万円→ 130 万円へ増額

あなたが選んだ議員の
仕事ぶりを見にきませんか？

次の定例会は 9月5日(金)午前9時開会予定です。
傍聴においでください。また町内4カ所の集落活動
センター・夢まちランドで、視聴できます。

議会広報編集委員会

※わかりやすい紙面にと心がけています。
読後のご感想、ご意見をお寄せください。

委員長	岡林 哲司
副委員長	山本 和輝
委員	橋元 陽一
委員	齋藤 光
委員	田村 幸生

本号で合計16回を編集し、現在の
編集委員での発行作業は終了に
なりました。6月議会から議会配
信も始まり、さらに身近に感じる
議会へと歩んでいます。これから
も議会広報誌「さかわ町議会」を
末永くご愛読下さい。

田村 幸生

また、地域へ出向いて住民の皆
さまと触れ合う取材活動は、得る
ものが多く、やりがいや生きがい
を感じるひと時になりました。

私たち「議会広報編集委員会」
は、2021年の改選で選ばれた
新人議員4名と2期目の議員1名
の計5名で「親しまれ読みやすく
て議会の情報が伝わる」を合言葉
にして、編集会議を重ねました。

編集後記



瑞応の盆踊り保存会

瑞応の盆踊り保存会へ

今年459年を迎えた「瑞応の盆踊り」保存会の皆さんに伺いました。

瑞応寺や盆踊りの由来の話、450年以上瑞応で引き継がれてきている話は、尽きることがありませんでした。



左から細木一正さん、細木美穂さん、伊藤みどりさん

瑞応の盆踊りの由来について、お聞かせください。



戦国騒乱のとき、この地の豪族片岡茂光に嫁いできた、長宗我部国親の妹、理春尼（りしゅんに）が、夫茂光の死後出家し、瑞応に小さな庵を構えた。そこで先祖の霊を弔うため盆踊りを始めた。この踊りは、元々その当時の片岡一族が仁淀川流域で踊っていたものと考えられる。

保存会はいつ頃つくられたのですか？

高知県無形民俗文化財の指定を受けた昭和37年に発足した。6代目の会長は細木一正さん。

保存会の会員は、自治会とほぼ同じメンバーであるが、運営は独立している。転出する人もいるが、地域内外から移住してくる人もいて、現在26世帯、51人で活動が続いている。

どんな活動をされていますか？

盆踊りを続けていくために、帰省する人が予定を立てやすいよう、開催日をお盆の最終日に固定した。今年は、2週間前から4日間（金・土）、踊り・歌・太鼓の練習をする。3つを合わせるのに難儀するが、先達の手本を頼りに450年以上も伝えられてきた伝統文化の冥利を味わえる。言葉にはできない。

当日花台に飾る約1mの花づくりにも地区民総出で取り組む。

これから、どんなことを大切に活動されていきますか？

伝統行事を続けていくには、後継者をつくることが必要だ。一人が会長を長くやるよりも、多くの人が知識や技術を習得し、互いに支え合えるつながりを大切にしていきたい。信仰の違う人とも協力し合えることが大事だと考えている。

踊りや曲は変えていないが、五つからなる踊りの内「こりやせ」「万才」の歌詞は歌い手が時代に合わせて作り加えてきた。この流れを継ぐ、「佐川踊り」もぜひ復活させてほしいと思っている。



保存会発足時の佐川町教育長北川清一氏のことばを紹介します。

「私たち世に生を享けたもの皆、愛郷の年に燃えるものでありますが、特に異郷にたつて功なり、名遂ぐるとき、さらに望郷の念は抑え難く、月に吟じ花に誦じて故郷の思

出、幼なじみの友がきこ心を寄することまことに人情を言えましよう。まして郷土に土着するものはさらに感切なるものがあります。」

今年の瑞応の盆踊り 8月16日 土曜日



あなたの周りで、佐川町の元気のためにがんばっている「組織やグループ」をぜひ紹介下さい。